

全国放課後連主催

障害のある子どもの放課後活動制度の普及・活用促進事業

第20回研修会in東京

「放課後等デイサービスの 今後のあり方と改善課題を考える」

「キリン福祉財団」助成

全国放課後連では「キリン福祉財団」からの助成を受け、「障害のある子どもの放課後活動の普及、活用促進事業」の一環として「第20回研修会」を開催いたします。放課後等デイサービスの事業も2年目に入り、多様な形態の事業所が参入する中で行われてきました。今年度最後の研修会では、開始2年が経過したこの段階での、同制度の成果と課題を明らかにし、同制度の今後の在り方や改善課題について深めていきたいと考えています。

午前中は「放課後等デイサービスの現状と展望」というテーマで厚生労働省から講演をして頂く予定です。その後、3つのテーマでのパネルディスカッションを行い、午後からの分科会に繋げていきます。

午後はプログラム記載の3つの分科会で意見交換をします。皆さんお誘いあわせの上ふるってご参加下さい。

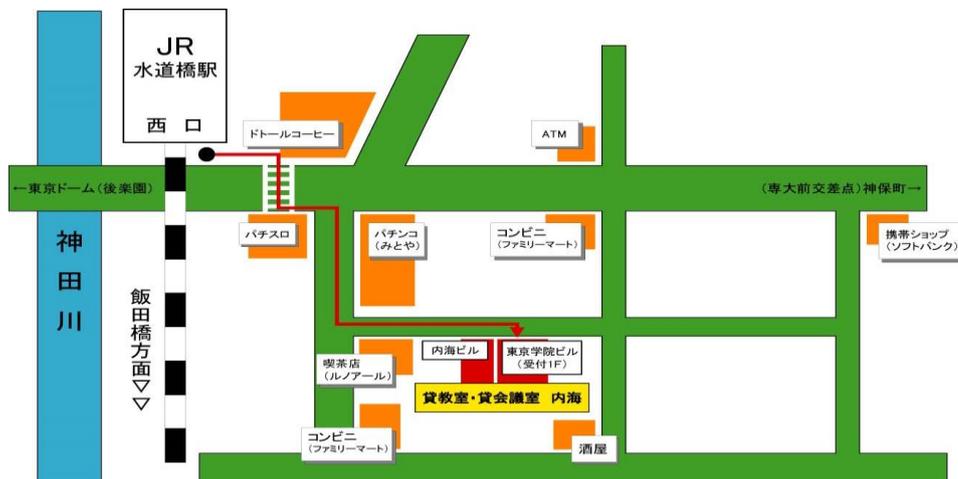
日時：2014年3月2日(日)

午前10時00分[9時30分開場]～午後4時30分(予定)

場所：貸教室・貸会議室『内海』（JR水道橋駅西口 徒歩1分）

東京都千代田区三崎町3-6-15

資料代：1000円（申し込み不要）



研修プログラム

● 午前： 午前10時 ～ 午後12時40分

I. 主催者あいさつ

II. 厚生労働省からの説明（約50分）

社会・援護局障害福祉部障害福祉課 障害児・発達支援室長 阿萬(あまん)哲也氏

① 放課後等デイサービスの全国状況

② 国レベルで考える放課後等デイサービスの基本的あり方

III. パネルディスカッション（約90分）

A：職員の資格や配置を考える

広島： 株式会社アセダック 放課後等デイサービスらっぽるてい

阿瀬田 久実子氏

放課後等スタッフに必要な専門性について問題提起を頂き、統一研修等の必要性について考えます。

B：施設整備のあり方考える

埼玉： NPO 法人ポコ・ア・ポコ 児童デイサービスぽこの実&ぽこの和

中村 亜紀子氏

放課後や長期休暇の実践内容に触れてもらい、最低限必要な実践環境について問題提起して頂きます。

C：報酬・利用料を考える

大阪： 社会福祉法人ライフサポート協会 放課後等デイサービスじらふ

原田 徹氏

漫然と報酬単価が低いと訴えるのではなく、成人の日中活動の報酬単価や子どもの発達の特性などを鑑み、年間に必要な運営費や本人負担の在り方について考えます。

● 午後： 午後1時40分 ～ 午後4時30分

分科会 A B C

※ 午前の部のパネルディスカッションのテーマで興味のある分科会に分かれて頂きます。

グループワークを通して地域の課題や国レベルで考えないといけない課題等を整理し、今後の活動に繋げていきます。

※ 希望分科会は当日パネルディスカッションの内容により、ご判断頂いて結構です。

お問い合わせ先： 06-6674-2211 （全国放課後連事務局）

担当： 上田・安坂・原田